

平成25年度 第1回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	平成25年8月6日（火）9時30分～11時50分
開催場所	平塚市中央図書館 会議室
出席者	委員 葛西裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山真由美 委員 加藤 利雄 委員 大河原将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸社会教育部長 和田芳男中央図書館長 脇孝行西図書館長 富田和博南図書館長 加藤祥管理担当長 菊坂伸江奉仕担当長 山田剛弘管理担当主査
傍聴人	1名

会議の概要

- 1 委嘱状交付 教育長から今回就任した6名の委員に委嘱状が交付された。
- 2 教育長あいさつ
- 3 出席者紹介 委員、事務局が順次自己紹介を行った。
- 4 会長・副会長選出 委員互選により、葛西委員が会長に、諸山委員が副会長に選出され、就任にあたってそれぞれ抱負を述べた。
- 5 議 事
 - (1) 平塚市図書館協議会について
 - 【事務局】 「図書館協議会について」を元に、協議会の法的根拠、役割、委員の人数・任期・報酬を説明した。
 - 【質 疑】 なし
 - (2) 平成25年度の図書館の事業及び予算について
 - 【事務局】 「平成25年度予算 図書館費」を説明した。
 - 【委 員】 社会構造の変化だと思いが、教育費の割合が大幅に減っている。
 - 【事務局】 「平成25年度平塚市図書館事業計画」を説明した。
 - 【質 疑】 なし
 - (3) 平塚市教育振興計画「奏プラン」及び平塚市子ども読書推進計画について
 - 【事務局】 「平成25年度 平塚市 教育方針」と「平塚市子ども読書活動推進計画（第2次）」を説明した。
 - 【質 疑】 なし
 - (4) 今期のテーマ及び開催予定などについて
 - 【事務局】 今期のテーマを決めるにあたり、他の自治体図書館での新しい取組や、運営方法を導入するといったサービス向上の事例紹介と、読書に係る本市の基本計画である「子ども読書活動推進計画（第3次）」が策定の時期に来ていることを説明した。
 - 【会 長】 例えば、この協議会で、今言われた事例紹介の課題の検討や、計画をどのように進めていくのかといった意見も求めているのか。
 - 【事務局】 協議会は、年3回を予定しているが、例えば、「子ども読書活動推進計画（第3次）」は、検討過程を報告する中で、開催回数を増やすことなどもありうる。

【会 長】 他の自治体図書館の新しい取組は、良く耳にするようになった。図書館には、今までと違う役割を求められているようにも感じる。また、「子ども読書活動推進計画（第3次）」の策定は、主にこの協議会で行うのか。

【事務局】 2次同様に、別に策定委員会を設けて行う予定である。その他パブリックコメントなどを実施し、それらもふまえて行うが、策定経過の中で、出た意見などは協議会に順次報告し、策定作業を進めていく予定である。

【会 長】 サービス向上の話を補足すると、他市の優れた事例などを視察すると良いと思う。各委員のご意見を伺いたい。

【委 員】 若者の読書離れを食い止めることは重要だと思う。そのために、民間委託した他市の公共図書館で行われている最新映画のDVDや喫茶等のサービスを提供するのも仕方がないと思う。しかし、本来、図書館とは「自らが探し、調べ、学ぶという作業を機能的に行う教育の場」であるべきである。

【委 員】 図書サービスの地域間格差をなくそうと、各地域の人が、何年にも及ぶ働きかけを行い、平塚市もその声に応え、今の4館体制を構築した。その当時の担当者が「このまま分館の整備が進むと総体管理が難しくなり民間委託も検討する必要がある」と言われた。その民間委託とは、今の公民館運営のように、「地域の人々が図書館運営をする」ことだが、現在まで、図書館は市職員が運営し、私も民間運営よりもサービスが良く、今のままで良いと思う。しかし、もう一方で、時代の流れで、サービス向上のために新たな運営方法なども検討しなければならないと思う。

【委 員】 平塚市は、古くから図書館・博物館・美術館・公民館など社会教育施設が充実しており、文化活動に関して素晴らしい熱意を持った方が沢山いる。私も、それを引き継ごうと、市の文化活動に関する基本計画の2本柱のひとつである「子ども読書活動推進計画」の策定に関わった。その中で、今、学校教育の場である小学校・中学校と、社会教育施設である図書館が良い方向で協働し、進んでいると実感している。例えば先日視察した、民間企業に業務委託された図書館では、清潔で来館者も多くサービスも充実しているように見えるが、資料の説明などを受け、質問した際には、運営が空洞化している印象を受けた。民間委託では、市民との協働などの根幹の機能が失われてしまう。または、忘れられるのではないかという危惧がある。民間委託によるサービス向上が平塚市にとって相応しいものなのか、情報共有して、十分話し合うことができたらと思う。

【委 員】 自分が今、勉強している大学で研究しているテーマでもサービス向上に関する内容が多い。運営でも色々な方法があるが、地域に適合しているかが重要だと思う。また、効率化を求めた結果、市民との協働の場や専門知識の継承といった機能が、失われるケースもあると聞く。

【委 員】 図書館運営は大きな曲がり角を迎えていると思う。結果としてどういう方向になるかというのは別にして、よく考えておくことは必要である。例えば、民間委託などに変更した場合だけでなく、従来の方で嘱託員を増やした場合との費用やサービスを比較し、具体的な数字まで出して検討する必要があると考える。また、利用者としては、今まで平塚市の図書館が積み上げてきたものが安易に変わることが困る。公共図書館でしかできないこと。例えば「学校と連携して、子ども読書活動

推進協議会を推進する」「図書ボランティアを育成する」は、特に考えて検討していただきたい。

【事務局】 前向きな意見を多くいただき感謝したい。6名の委員からいただいた意見は、次回の協議会までにまとめて、次につなぐことができるようにしたい。

【会 長】 その他に委員から質疑はないか。

【委 員】 平塚市の図書館は、かつては医療関係の図書の収集に努めていた記憶がある。今日では「市民の読書ニーズを把握する」「大学図書館と連携する」等の様々な方法で資料の充実に努めていると思われるが、現在の各図書館の資料収集の方針等があれば伺いたい。

【事務局】 今、図書館は4館あって、北図書館は「農業・園芸関係」、西図書館は「古代史を中心とした日本の歴史資料」、南図書館は「福祉や海洋関係」と、それぞれ特色に合わせた資料収集に努めている。ただし、予算的に年々厳しくなっているので、まずは、公共図書館として必要な資料を最優先し、特色を出すまでは難しくなっているのが現状である。

【委 員】 中央図書館はどうか。

【事務局】 中心館であり、幅広い分野の資料を収集する必要がある。また「レファレンスに必要な辞書類」を集めるといった専門図書の充実に配慮している。

【会 長】 その他にはないか。

【事務局】 次回開催時期は11月を予定している。内容も、さら掘り下げた議論や提言が行えるように、情報共有を進めていきたい。

【事務局】 平塚市の図書館運営に対し、各委員の多大な関心と熱意を感じた。次回の協議会では、事務局には、他市の図書館の状況等を含めて情報提供などを指示したい。子ども読書活動推進計画は、市民主導で進めていくべき計画あると考える。この協議会にも情報を随時提供し、各委員から意見をいただき計画が形骸化しないようにしたい。今後とも幅広い見地から図書館サービスの向上につながる御提案をお願いする。

【会 長】 閉会を告げた。

以 上